

10 月～11 月どり主要アブラナ科野菜の高温障害抑制技術の開発

【背景と目的】

都内では夏季の高温により野菜類の品質低下や収穫物の減収が問題となっている。そこで、夏期の高温下で障害が出ている野菜の障害発生条件を検討し、高温等による障害の少ない品種の選定や資材、育苗方法を検討し、暑熱対策技術を開発する。

【研究概要】

夏期の高温下で障害が出ている野菜3品目（ダイコン・キャベツ・ブロッコリー）の品種特性を把握し、障害発生条件を探るとともにとその対策を作成する。

- （1）品種比較：高温障害が発生しにくい品種を明らかにする。
- （2）資材検討：白黒マルチ等の資材の比較を行う。
- （3）育苗方法等：育苗方法による根の活着程度と高温障害の発生程度を明らかにする。